

3.11 を忘れない

～ひとの復興～

牡鹿半島で温かい交流をつくる -おらほの家プロジェクト-

みやぎ生協から被災地・宮城のいまをお伝えします

牡鹿半島はほぼ全域が山地で、漁港や集落の多くはリアス式海岸の入り江にあります。

震災は半島で暮らす人たちの生活を一変させました。人口は約4,300人から約2,500人に減少(※)。「過疎化が一気に進んだ」と、牡鹿半島でお茶っこや食事会の送迎サービス付きサロン活動を実施している「おらほの家プロジェクト」代表管理人の本庄年さんはいいます。

長い避難生活のなか、若い世代は街に移住し高齢者は故郷に戻る形で世帯分離が進みました。集落も、家が残ってそのまま住み続けている人と家を失って高台に移転する人に分かれてきました。さらに世帯減少と独居高齢者の増加で、住民の交流が以前より少なくなりました。復興は進んでいますが、坂道が多く、バスも不便で、隣の集落に行くにも通院にも、車を運転できる人の助けが要ります。

サロンの日、本庄さんたちは参加者のいる集落を送迎車で回り、清水田浜の「おらほの家」に案内します。お茶っこではお喋りや手芸に興じ、食事会では調理・食事・片付けを全員で行ないます。「一人



▲月6回以上開催されるサロン。方言の飛び交う楽しいひと時を過ごします。

暮らしだからみんなとお喋りできるのが嬉しい」「この辺りは気晴らしに出かける所が少ないのでサロンが楽しみ」と、参加者は満足して帰っていきます。

本庄さんたちはいま、ボランティアの減少や高台移転による集落再編に対応し、少人数スタッフでの運営、集落ごとの小規模お茶っこなど、サロン活動の見直しを図っています。

課題はやはり人手と送迎です。「高齢者の体調を見ながらの活動でもあるので、もう少しボランティアの手を借りたい。集落ごとのお茶っこは地域住民の手で行なうのが理想ですが、送迎がないと参加者が限られる。そのフォローも考えていかなければなりません」。

地域に温かい交流が残っているから、住み続ける、移住しても時おり帰ってくるという人は少なくありません。おらほの家プロジェクトのように、人と人の温かい交流をつくる取り組みが、これからも望まれています。



▲サロン終了後、送迎車を見送る参加者とスタッフ。庭の向こうには牡鹿の海が広がっています。

●「おらほの家プロジェクト」
<https://oraho-oshika.jimdo.com/>

※「平成27年国勢調査による石巻市の人口・世帯数」(石巻市)

DEMAE KOUGI 福井県立大学で 出前講義 7月24日(月)

『食の安全とくらしの安心で、地域へのお役立ち』テーマに

福井県立大学経済学部 北川太一教授の講義のゲストスピーカーとして招かれて実施している福井県立大学の学生(3年生)を対象にした出前講義(90分)も、国際協同組合同年(2012年)から数えて6年目となりました。

「協同組合同年?」「生協って?」の説明の後、生協が組合員のくらしだけでなく地域や社会、地球環境をよりよくするために地域や職場、学校などで事業・活動していることを、パワーポイントを活用して理解を深めていただきました。

メインは、福井大学生協 磯崎専務理事による「大学生協って?」の講義です。福井大学生協の使命や行っている事業や活動、学生が主体的に企画参加したり体験できる企画などを紹介し、「福井県立大学でも、ぜひ大学生協設立にチャレンジしてみてください。福井大学生協が全面的にサポートします!」とエールを送りました。学生さんからは活発に質問も出され、関心の高さが伺われました。



▲福井大学生協 磯崎専務理事による講義

第21回 参加者募集 海岸クリーンアップ Let's clean the coast!

★ 9月2日(土) 9:00~10:00 鷹巣海水浴場

★ 9月9日(土) 9:00~10:00 三国サンセットビーチ

持ち物 ゴミ袋は事務局で用意します。その他の帽子・軍手・汗拭きタオル・火はさみなどは各自ご用意ください。

※悪天候により、事前に中止する場合があります。その際には連絡いたしますので、申し込み時に連絡先(電話番号)をお聞かせください。

※行事保険に(事務局負担で)加入します。

お申し込み・お問い合わせは 福井県生協連合会まで

協賛: 福井県企業等ボランティア・社会貢献連絡会

ふくいの生協

福井県生活協同組合連合会

〒910-0842 福井市開発5丁目1603番地(県民生協本部センター内)

TEL0776-52-8815 FAX0776-52-2050 Eメールアドレス kenren@fukuicoop.or.jp

2017年8月4日 No.116

<http://www.fukui.coop/kenren/>

福井県生協連合会

検索

県連総会 6月8日(休) General meeting

第42回福井県生活協同組合連合会通常総会のご報告

福井県教育センター4階 大ホールにおいて、第42回福井県生活協同組合連合会通常総会を開催しました。

当日は、福井県安全環境部企画幹 三澤茂氏に来賓として出席いただきご祝辞をいただきました。紙屋敏夫副会長理事の開会宣言の後、福井県医療生協の平澤公代議員が議長として選任され、続いて、理事会を代表して竹生正人会長理事が挨拶し、以下の全議案が可決決定されました。



▲福井県安全環境部 三澤氏



▲福井県生活協同組合連合会 第42回通常総会

可決決定された議案

第1号議案 2016年度活動報告・決算報告及び剰余金処分案承認の件

第2号議案 2017年度活動方針及び収支予算決定の件

第3号議案 役員(理事9名、監事2名)選任の件



なお、本総会の終結をもって理事及び監事全員が任期満了となりました。今年度の役員体制は右記の通りです。今後とも、より一層のご指導・ご鞭撻を賜りますようお願い申しあげ、ご報告とさせていただきます。



任期満了で、梅津良一氏・濱野健治氏・野田晋三氏が退任されました。今までのご尽力に感謝申し上げます。

2017年度 新役員体制(敬称略) 理事9名 監事2名

会長理事 竹生 正人 (福井県民生協 理事長)	理事 松宮 幹雄 (福井県民生協 専務理事)
副会長理事 田中 光顕 (福井県医療生協 専務理事)	理事 小林 厚 (福井県労済生協 専務理事)
副会長理事 黒崎 文夫 (福井県学校生協 専務理事)	理事 紙屋 敏夫 (福井県庁生協 専務理事)
専務理事 檜尾 智恵子 (福井県民生協ネットワーク支援部 次長)	理事 磯崎 修治 (福井大学生協 専務理事)
	理事 吉本 健造 (管浜生協 理事長)
	監事 中村 正勇 (管浜生協 監事)
	監事 森岡 一浩 (福井大学生協 専務補佐)

役職員学習会

講演会 「普通の子が『世界』に羽ばたくJETS物語～こどもの可能性～」
日時 7月8日(土) 場所 福井県国際交流会館 多目的ホール

7月8日(土)福井県国際交流会館にて、福井商業高等学校 チアリーダー部顧問 五十嵐裕子先生を講師にお迎えして、講演会「普通の子が『世界』に羽ばたくJETS物語～こどもの可能性～」を開催し、220名と、多くの方のご聴講をいただきました。

当日は、現役JETSメンバーも登壇し、はじける笑顔と素晴らしいテクニックで、圧巻のダンスを披露してくださいました。

「夢に限界を持たせない。」「自分に限界を作らない。」「行動すれば何かが起こる。」「頑張ることを目標にするのではなく、ゴールに到達することをイメージして頑張る。」「など、心に響く多くのメッセージは、日々のくらしの中にキラリと光る道しるべになることでしょう。楽しい時間であるとともに、学びの多い講演会となりました。五十嵐裕子先生、JETSメンバーの皆様、本当にありがとうございました。



▲福井商業高等学校チアリーダー部顧問 五十嵐 裕子 先生

